

- ▶第109回定時総会特集 (2~4面)
- ▶公募 (3面)
- ▶キリスト教教育者物語 (4面)
- ▶全国キリスト教学校人権教育セミナー(//)
- ▶行事予定 (//)

キリスト教学校教育 7

2020・2021年度教研テーマ
キリスト教学校の使命と可能性—いのちの尊さと平和を求めて—

(一社)キリスト教学校教育同盟
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館72号室
電話 03(6233)8225
FAX 03(6233)8226
理事長 西原 康太
編集人 田村 浩一
頒価200円(加盟法人の購読料は会費に含まれています)
(毎月1回15日発行)



Zoom参加者(一部)とともに (全体はホームページに掲載しています)

第109回定時総会

6月4日(金)・5日(土)
桃山学院大学昭和町キャンパスより
オンラインにて開催される

磯崎久桃山学院学院長
開会礼拝メッセージ

「日を正しく数える」
父と子と聖霊の御名に
よって。アーメン
ト開催ではありませんが、皆様、よろこばれ桃山学院大学聖テモテ館へ、心より歓迎申し上げます。
昨年来の新型コロナウイルス禍の下、日々苦勞されながら歩んでおられること存じます。私がとても感心しておりますのは、生徒さん、学生さん、教員、職員の皆様が、本当によく忍耐し、工夫を凝らして歩んでおられることです。
今朝、ご一緒に憶えた聖書のみ言葉であります。
キリスト教学校教育同盟加盟校の皆様、リモート

Zoom参加者(一部)とともに (全体はホームページに掲載しています)
中、よく忍耐し、がんばっておられるということに、本当に感心致します。まずそうした皆様に敬意を表します。
一方、先ほど拝読して頂きました詩編90編2節以下にもありますように、人間の弱さ、はかばか、人間とは弱い存在だと言ったことも日々痛感しております。以前のようなお話を聞いたことがありません。
アフリカの奥地で伝道活動をしている宣教師のひとへ、「チチキトクスグカエ」の電報が届いた。そこで彼は急ぎ荷物をもとめ、7・8人の現地の人を雇い、荷物を運んで、海岸の港に向かっている。彼らは山を越え原野を横切り沼地を割って、できる限りの速さで進んだ。ある



開会礼拝

しょうか。学校の現場におきましても、心と体のケア、互いに助け合う、支え合うことの大切さを自覚する必要があります。神さまが生徒さんや学生さんの魂をお守りくださるよう祈ります。さて、「生涯の目を正しく数えるように数えてください」という詩編の作者の祈りが、私の心に毎日浮かんできます。感染症の流行の中、あまりにいろいろなものを数えてばかりいるからかとも思います。感染者の数、お亡くなりになった方の数、入院される方の数、重症者の数、……思いめぐらしております。私はいかに風を考えるようになりまし。詩編の作者は私たちに別の数を数えるように勧めてくださいます。
この後どのように生きて行けばいいだろうか。知恵の心を得よう、知恵の心を求めようという祈りではないでしょうか。この大きな苦しみを、無意味に終わらせてはならないと思います。
何を大切に生きていくか。私たちに与えられているのは、優先順位をつけることと、まず「命を大切にしよう」「命を守り合おう」ということです。
今総会では、特別プログラムにおいて桃山学院中高で実践されている「いのちの教育」で湯川先生がお話してくださいます。「いのち」の大切さについて皆様と分かち合いたいと思います。
もう一つは、新型コロナウイルス禍が収束した後、元の世界にそのまま戻るのはなく、よりよい社会・世界に変革していくと言っています。私



西原理事長挨拶(2面参照)

おのが日、限りある人生を歩んでいることを教えて、日々を価値あるものにさせてくださいと言った祈りではないか。
窮屈で、苦痛を伴う時野学長がビジネスデザイン学部の取り組みについてお話しくださいます。ビジネスデザイン学部の社会のニーズにこたえると言ったことはあるのですが、ビジネスの世界に留まらず、この社会・世界にありまことを、不運な出来事、災難で終わらせなくてはならず、どうして私たちがこのような状況に陥ってしまったのか。
桃山学院は1884年大阪川口居留地に産声をあげ、今年で137年、大学は1958年この昭和町に開設され、63年目を迎えます。その底流を流れますスクールモットーは「自由と愛の精神」です。いのちの教育、社会に奉仕し、より良き変革をもたらす人の育成、これらは、自由と愛の精神の具体的な表れであります。
リモート開催という限界はあるかもしれませんが、皆様と分かち合いたいことを分ち合いたい、これから私たちの歩みを展望する一助になればと願っております。
「いのちの教育」で湯川先生がお話してくださいます。わたしたちの神、主の喜びが、わたしたちの上にありますように。
わたしたちの手の働きを、わたしたちのために、確かなものとし、わたしたちの手の働きを、どうか確かなものとしてくださいます。

(詩編90編17節)
父と子と聖霊の御名に
よって。アーメン

各地区総会開催される

東北・北海道地区
日時5月21日(金) 15時~16時3分
Zoomによるオンライン

関東地区
日時5月22日(土) 13時~16時30分
Zoomによるオンライン

関西地区
日時5月15日(土) 13時~15時10分
Zoomによるオンライン

西南地区
日時4月13日(火) 20日(火)
webによる開催・メール承認決議

加盟校動静

福岡女学院
十時忠秀氏が5月31日付けで理事長を退任、6月1日付けで片野光男氏が後任に就任(福岡女学院看護大学学長兼任)。
齋藤正彦氏(元女子学院院長)

6月3日逝去、95歳。葬儀は6月7日(月)午後1時30分から東京都千代田区日本基督教団富士見町教会で執り行われた。1983~2001年教育同盟の常任理事(教研、総務担当他)を務められた。謹んで哀悼の意を表します。

第109回定時総会議事録より

〔第1日〕6月4日(金) 開催となったこと(2)の議決権数の確認(第1 I. Zoom入室(9時 021年5月14日開催の臨時電子理事会決議、総会員数1102法人 30分〜10時) II. 開会礼拝(10時〜10 総会参加者受入れ及び感 染症対策に係る準備を直 前まで行ってきた会場校 議決権行使書179法人 この議決権の総数11 66個



出田善蔵桃山学院理事長挨拶

モテ館8C教室 司式・説教II「日を正し く数える」磯晴久(桃 山学院学院長) 奏楽II堀江光一(桃山学 院大学オルガニスト) III. 挨拶(10時30分〜10 時40分) (1) 理事長挨拶 一般社団法人キリスト 教学校教育同盟西原廉太 理事長より、開会の挨拶 が述べられた(要旨別 りにたいだき旨挨拶が 述べられた。 (2) 総会成立宣言・議 事事務局より、定款第18 条に基づき、理事長の西 (4) 総会日程の承認

原廉太氏が本総会の議長 を務めることが紹介さ れ、議長が開会を宣言し た。 (3) 議事録作成者指名 議事録署名名人推薦 議事録作成者に桃山学 院の雑賀淳氏、大西健太 氏(総務部総務課)が指 名され、承認された。 議事録署名名人に北星学 園理事長・学園長の古川 づき報告書精査に関する 承認された。 (5) 報告書委員会付託 する報告 事務局より、議案書 (P106)に基づき、 加盟校の動静に関する報 告がなされ、承認され た。 (1) 事務局報告 (1) 加盟校動静に関する 報告 事務局より、議案書 (P106)に基づき、 加盟校の動静に関する報 告がなされ、承認され た。 (2) 加盟校人事異動に関 する報告 事務局より、議案書 (P107〜109)に 基づき、加盟校人事異動 に関する報告がなされ、 承認された。 (3) 常任理事会・理事會 に関する報告 事務局より、議案書 (P14〜50)に基づき、

に会すると同時に適 時的、的確な意見表明が互 いにできる状態となつて いることを確認した。 V. 議事(10時45分〜11 時35分) 1. 報告I (1) 事務局報告 (1) 加盟校動静に関する 報告 事務局より、議案書 (P106)に基づき、 加盟校の動静に関する報 告がなされ、承認され た。 (2) 加盟校人事異動に関 する報告 事務局より、議案書 (P107〜109)に 基づき、加盟校人事異動 に関する報告がなされ、 承認された。 (3) 常任理事会・理事會 に関する報告 事務局より、議案書 (P14〜50)に基づき、

理事長・理事・監事一覧

一般社団法人キリスト教学校教育同盟 第109回定時総会報告(2021年6月4日)

任期:2020年定時総会〜2022年定時総会(2年間)、 及び補欠理事は2021年定時総会〜2022年定時総会(1年間) (理事長1名・常任理事11名・理事8名・常任監事1名・監事1名、合計22名)

理事長	西原 廉太	(立教学院)	総務理事	
常任理事	寺嶋 潔	(女子学院)	会計理事	
常任理事	坂田 雅雄	(横浜共立学園)	会計理事	
常任理事	山本与志春	(青山学院)	教育研究委員会担当理事	
常任理事	小暮 修也	(明治学院)	広報委員会担当理事	
常任理事	湯口 隆司	(活水学院)	国際交流担当理事	
常任理事	松田 和憲	(関東学院)	キリスト教学校教育懇談会担当理事	
常任理事	飯 謙	(神戸女学院)	東北・北海道地区代表理事	
常任理事	大西 晴樹	(東北学院)	関東地区代表理事	
常任理事	山口 博	(聖学院)	関西地区代表理事	
常任理事	八田 英二	(同志社)	西南地区代表理事	
常任理事	ギャーリ・パーカー	(西南学院)		
理事	古川 敬康	(北星学園)		
理事	小池 一夫	(桜美林学園)		
理事	中島 昭子	(捜真学院)		
理事	安藤理恵子	(玉川聖学院)		
理事	磯 晴久	(桃山学院)		
理事	小室 尚子	(金城学院)		
理事	舟木 譲	(関西学院)		
理事	阿久戸光晴	(福岡女学院)		
常任監事	嶋田 順好	(宮城学院)		
監 事	増田 仰	(折尾愛真学園)		

以上

西原廉太理事長 挨拶



『岐阜新聞』の記者の方 とお知り合いになり、素敵 な記事をご紹介いただきま した。2018年2月11日 付け『岐阜新聞』の「素 描」というコラムに、飛騨 市長である都竹淳也(つづ くじゅんや)さんが寄稿さ れた「障がい児の親とし て」と題された、このよう な記事でした。

「私の次男は最重度の知的 障がいのある自閉症児で ある。特別支援学校中学部 の1年生。多くの方々のこ 支援をいただきながら暮ら している。

く、病気や生活困窮、ひと り親家庭など、厳しい状況 にいる人々を助けたいと 強く思うようになった。そ うした頃、県職員だった私

は、願ひ叶って障がい児者 支援の仕事に就くことがで き、重症心身障がい児者を 医療面から支える仕事に打 ち込んだ。

市長となった今も、弱い 立場の方々の支援は市政の 最重点だ。こうした分野に 取り組むのは、誤解を恐れ ずに言えば、自分の子ども のためである。公職にある 自分が支援を充実させれ ば、多くの方々が救われ

る。それは次男が私をして なさしめたことであり、こ の子が世の中のお役に立て たことになるからだ。この ことだけは徹底して親はか でありたいと思う」

「子どもたち」のために、 精一杯に、自信をもって、 これからも日々のキリスト 教教育を共に担ってまい りたいと思います。」

〈立教大学総長〉

身も障がいのある子を持っ て、大きく変わったと思う。 次男のいいところはどこ だろうと毎日見ているうち に、同じように職場の部下

は、願ひ叶って障がい児者 支援の仕事に就くことがで き、重症心身障がい児者を 医療面から支える仕事に打 ち込んだ。

市長となった今も、弱い 立場の方々の支援は市政の 最重点だ。こうした分野に 取り組むのは、誤解を恐れ ずに言えば、自分の子ども のためである。公職にある 自分が支援を充実させれ ば、多くの方々が救われ

る。それは次男が私をして なさしめたことであり、こ の子が世の中のお役に立て たことになるからだ。この ことだけは徹底して親はか でありたいと思う」

「子どもたち」のために、 精一杯に、自信をもって、 これからも日々のキリスト 教教育を共に担ってまい りたいと思います。」

〈立教大学総長〉

は、願ひ叶って障がい児者 支援の仕事に就くことがで き、重症心身障がい児者を 医療面から支える仕事に打 ち込んだ。

市長となった今も、弱い 立場の方々の支援は市政の 最重点だ。こうした分野に 取り組むのは、誤解を恐れ ずに言えば、自分の子ども のためである。公職にある 自分が支援を充実させれ ば、多くの方々が救われ

る。それは次男が私をして なさしめたことであり、こ の子が世の中のお役に立て たことになるからだ。この ことだけは徹底して親はか でありたいと思う」

〈立教大学総長〉

キリスト教教育者
物語

(83)

社会福祉事業家・
教育者としての
長谷川保

聖隷学園

創立者長谷川保(1903～1994)は19歳の時、日本力行会の海外学校に入學し、青春時代を過ごした。彼を福祉事業家へと覚醒させたのは、学校礼拝の最中に「日本にとどまって、この国を救うために働け」という声を聞いたことであると自伝は記録している。

聖隷学園の礎は1926年に据えられる。当時、不治の病とされていた「結核」患者を引き受けて、共に生活する「聖隷社」の起業であった。この事業に対する世間の風当たりは強く、度々存亡の危機に晒された。万策尽き撤退やむなしの決断をした1939年のクリスマス、特別御下賜金「が与えられ、財政的な救済と彼らの事業に対する社会的偏見が一挙に払しょくされていった。

終戦の翌年1946年に、彼は衆議院議員となり、憲法及び生活保護法等の制定に尽力した。さらに、日本の復興を祈る中で「キリスト教に立脚した教育事業を興すこと」を願って、1949年「遠州基督学園」を創設した。爾来、今日の保健医療福祉の専



永井英司
〈聖隷学園宗教主任〉

1926年復活祭の日、浜松の借家の二階で『聖隷社』起業式が行われて以来、「聖隷・聖なる神の奴隷」と「クリストファー・キリストを担う者」を冠する聖隷学園は、今、日本初となる「メディカルスクール」の開学に照準を合わせて準備を進め、神の先手としての務めを担い続けている。

第109回定時総会特別プログラム

講演 I

いのちの教育 ～生徒の突然死からうまれたもの～

桃山学院中学校高等学校養護教諭 湯川敦代



2004年5月27日、当時高校3年生だった前重響君がスポーツテストの1500m走中突然死するという出来事がありました。私は現場で心肺蘇生を行いました。心臓が動き出すことはありませんでした。また養護教諭として歩き出して間もなく、一人の生徒の命も守れなかったことに自信をなくし、ただ落ち込むばかりの毎日が続きました。そんなある日、亡くなった前重君のお母さんから一通の手紙が届いたのです。



「今回の事が先生方の心の傷になってしまわないかと、それがずっと私たち夫婦の気がかりでした。先生方にはたくさん

の可愛い生徒達がいます。彼等の為にも一日も早く元気になってあげてください。そしてこの事を心の傷ではなく心の糧にして下さるよう願っています。」

この手紙は事故の2週間後に届きました。はかり知れない苦しみや悲しみの中、ご両親が私たちが学校のことに心を配ってくださったことに驚き、感謝し、今後は同じ思いをする人がいてはいけないう決意を新たにしました。

事故の翌年から始めたいのちの教育は、主に以下のような内容で構成されています。

①生徒の命を守る取り組み
1、校内11か所のAED設置、課外活動への持参
2、救命講習の実施(生徒、教員、PTA)
3、学校運営の基本に安全を(いのちをたいせつにするマニュアルの配布)

②いのちの大切さを考える取り組み
1、聖バルナバ病院恩恵期教室受講
2、カフェテリア方式いのちの教育
講座例「親になりゆく

3、保護犬・保護猫プロジェクト
4、ひびきプロジェクト
講演例「子供たちの命を守るために」ASUKAモデルへの想い」



講演 II
創造力・実践力を高める
教育の推進ービジネスデザイン学部
の取り組みー

桃山学院大学学長 牧野丹奈子

新型コロナウイルス感染症に罹患されておられる方、またご苦労されている方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早く平穏な日々が戻るこ

とを祈りました。以下に本学ビジネスデザイン学部の狙いと学びをご説明させていただきます。

今日の社会ではあらゆる問題が不安定・不確実・複雑・曖昧なものとな

ています。過去の成功体験や線形的な将来予測に、もはや意味がありません。大事なことは、新しい価値を生み出すことです。つまり「分析する」ではなく、「つくる」ことが求められるということです。

そこで、新しい価値をつくる人を育てるための学部をつくりたいと考えました。それが2021年4月に開設したビジネスデザイン学部です。

実際にビジネスをデザインできる人を育てます。ここでいうビジネスとは、社会に対して価値を持続的に生み出す活動のことを指します。私は、このようなビジネスの力で多くの社会問題を解決できると考えています。

では次に、ビジネスデザイン学部の学びの特徴をご紹介します。

第一は、社会課題を「自分で」と捉えるための学びです。社会に価値を生み出すビジネスを創るためには、社会の人々に寄り添う態度や思考が必要となります。そのため、本学部では社会との接点を常に設けており

ます。たとえば、70以上の企業・団体との連携に基づき授業、半数以上の実務家教員、2年生・3年生の必修のインターンシップ等です。

第二は、創造力・実践力をつけるための学びです。本学部では実践科目を約半数設け、実践から学びをスタートさせるように

しています。今後教職員が学生と共に学びつつ、創造力・実践力を高めるための学びに取り組みで参ります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

第31回全国キリスト教

校人権教育セミナー案内
8月16日(月)10時～17日(火)15時、Zoomによりオンラインで開催される。

第三は、科目連携による学びです。当学部では、自ら作成したビジネスのプロトタイプを企業・団体等に対してプレゼンテーションし、一定の評価を受けることを卒業要件としております。

では次に、ビジネスデザイン学部の学びの特徴をご紹介します。

第三は、科目連携による学びです。当学部では、自ら作成したビジネスのプロトタイプを企業・団体等に対してプレゼンテーションし、一定の評価を受けることを卒業要件としております。

では次に、ビジネスデザイン学部の学びの特徴をご紹介します。

第三は、科目連携による学びです。当学部では、自ら作成したビジネスのプロトタイプを企業・団体等に対してプレゼンテーションし、一定の評価を受けることを卒業要件としております。



テーマは「気づき、共に築く人権教育」新型コロナウイルス・ウィルス危機の中で、全体会①②、6分科会、聖書研究、礼拝メッセージが行われる。問合せはevent12021@gmail.comまたはNCC教育部(03-3203-0731)へ。

事務局だより

コロナ感染症の全国的蔓延により今回の定時総会は、会場出席を大幅に縮小した前回に続いて異例なものでした。全会員校にオンライン参加をお願いし、会場には議長と事務局、ホストである桃山学院関係者のみが参集しました。

7月10日は陰暦の6月1日、田に水を引く月(みなづき(水無月))に入り、梅雨の雨が稲の実りをもたらす重要な時、今の重苦しい霧の先にあるポストコロナの新たな恵みに皆が活かされ

読後「書き込みひろば」

読者の皆さんが感じたことを自由に書き込んでいただける寄せ書きの場です。より良い本紙作りの参考にもさせていただきます。https://bit.ly/2TgNn9tか下記QRコードにアクセスしてください(書き込み可能は7月31日まで)。



<行事予定>

- 7/17 第65回事務職員夏期学校(オンライン)
- 8/4 第8回中堅教員リトリート(オンライン)
- 16 教員リフレッシュ研修(オンライン)
- 24 第7回全国事務局・事務長会議(オンライン)
- 26 第11回中堅事務職員リトリート(オンライン)
- 27 第8回大学新任教員研修会(オンライン)
- 9/4 教研部会等委員長会議(オンライン)
- 7 第65回大学部会研究集会(オンライン)
- 11 キリスト教活動担当事務職員研修会(オンライン)
- 16 第63回中高研究集会(オンライン)